第２　北海道の医師数等の現状

１　医療施設従事医師数の推移等

○　道内の医療施設従事医師数は年々増加しており、「医師・歯科医師・薬剤師統計*」（以下「三師統計（調査）」という。）の結果によると、平成20年(2008年)は11,830人であったのに対し、平成30年(2018年)では12,848人となっています。

*平成28年分までは医師・歯科医師・薬剤師調査（三師調査）として実施、平成30年分から名称変更

○　人口10万人当たり医師数は、平成20年(2008年)は213.7人であったのに対し、平成30年（2018年）では243.1人となっており、全国平均の246.7人に近い水準となっています。

○　道内医師の平均年齢は年々上昇し、平成20年(2008年)は48.6歳であったのに対し、平成30年(2018年)では51.1歳となっており、また、全国平均の49.9歳を上回っています。

○　道内の女性医師は年々増加しており、平成30年（2018年）には医療施設従事医師のうち女性医師の割合が16.0%に達しています。また、近年は医育大学入学者の概ね３割が女性となっています。

○　施設種別による従事医師数は病院が最も多い状況で、医療施設従事医師数に占める病院・診療所・医育機関附属の病院それぞれの医師数の割合は、平成20年(2008年)と平成30年(2018年)を比較しても大きな変動はありません。

【医療施設従事医師数の推移（人）】

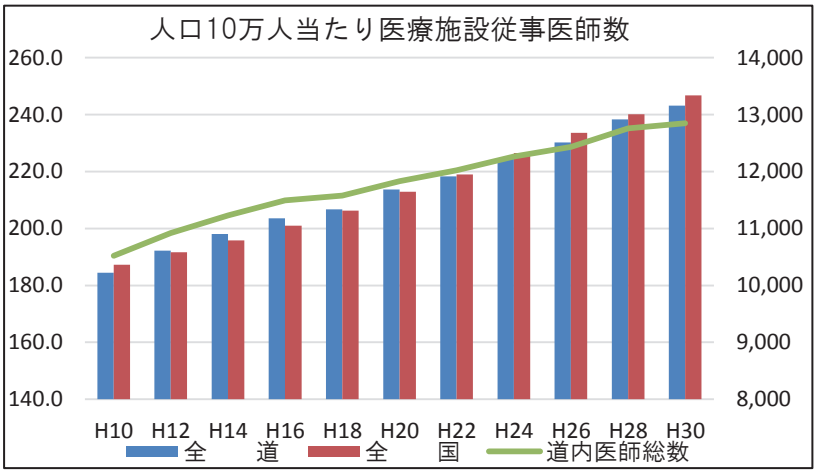
	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
全　道	10,519	10,921	11,228	11,490	11,579	11,830	12,019	12,262	12,431	12,755	12,848
全　国	236,933	243,201	249,574	256,668	263,540	271,897	280,431	288,850	296,845	304,759	311,963

*厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」

【人口10万人当たり医療施設従事医師数の推移（人）】

	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
全　道	184.5	192.2	198.0	203.6	206.7	213.7	218.3	224.6	230.2	238.3	243.1
全　国	187.3	191.6	195.8	201.0	206.3	212.9	219.0	226.5	233.6	240.1	246.7

*厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」



【医師の平均年齢の推移（歳）】

	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
全　道	46.8	47.3	47.6	47.8	48.1	48.6	49.2	49.8	50.2	50.6	51.1
全　国	47.2	47.5	47.6	47.8	48.1	48.3	48.6	48.9	49.3	49.6	49.9

＊厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」

【医療施設従事医師数（男女別）】

区　分		H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
全　国		236,933	243,201	249,574	256,668	263,540	271,897	280,431	288,850	296,845	304,759	311,963
	男	203,910	208,353	210,764	214,628	218,318	222,784	227,429	232,161	236,350	240,454	243,667
	女	33,023	34,848	38,810	42,040	45,222	49,113	53,002	56,689	60,495	64,305	68,296
	女性比	13.9%	14.3%	15.6%	16.4%	17.2%	18.1%	18.9%	19.6%	20.4%	21.1%	21.9%
全　道		10,519	10,921	11,228	11,490	11,579	11,830	12,019	12,262	12,431	12,755	12,848
	男	9,440	9,775	9,948	10,113	10,138	10,297	10,386	10,542	10,628	10,821	10,788
	女	1,079	1,146	1,280	1,377	1,441	1,533	1,633	1,720	1,803	1,934	2,060
	女性比	10.3%	10.5%	11.4%	12.0%	12.4%	13.0%	13.6%	14.0%	14.5%	15.2%	16.0%

＊厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」

【道内医育大学における入学者推移（男女別）】

入学者数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
男性	231	241	243	228	230	236	226
	69.2%	72.4%	72.8%	68.3%	68.9%	71.7%	68.7%
女性	103	92	91	106	104	93	103
	30.8%	27.6%	27.2%	31.7%	31.1%	28.3%	31.3%
計	334	333	334	334	334	329	329

（各大学HP公表資料から集計）

【道内の施設種別医師数の推移（人）】

区　分	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30
病　院 （医育機関附属の病院を除く）	6,333	6,586	6,691	6,858	6,999	7,074	7,156	7,382	7,485	7,704	7,772
	60.2%	60.3%	59.6%	59.7%	60.4%	59.8%	59.5%	60.2%	60.2%	60.4%	60.5%
診 療 所	2,908	3,037	3,123	3,159	3,144	3,240	3,314	3,352	3,387	3,447	3,445
	27.6%	27.8%	27.8%	27.5%	27.2%	27.4%	27.6%	27.3%	27.2%	27.0%	26.8%
医育機関附属の病院	1,278	1,298	1,414	1,473	1,436	1,516	1,549	1,528	1,559	1,604	1,631
	12.1%	11.9%	12.6%	12.8%	12.4%	12.8%	12.9%	12.5%	12.5%	12.6%	12.7%
計	10,519	10,921	11,228	11,490	11,579	11,830	12,019	12,262	12,431	12,755	12,848

＊厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」
（上段：実人数　下段：全道の医療施設従事医師数に占める割合）

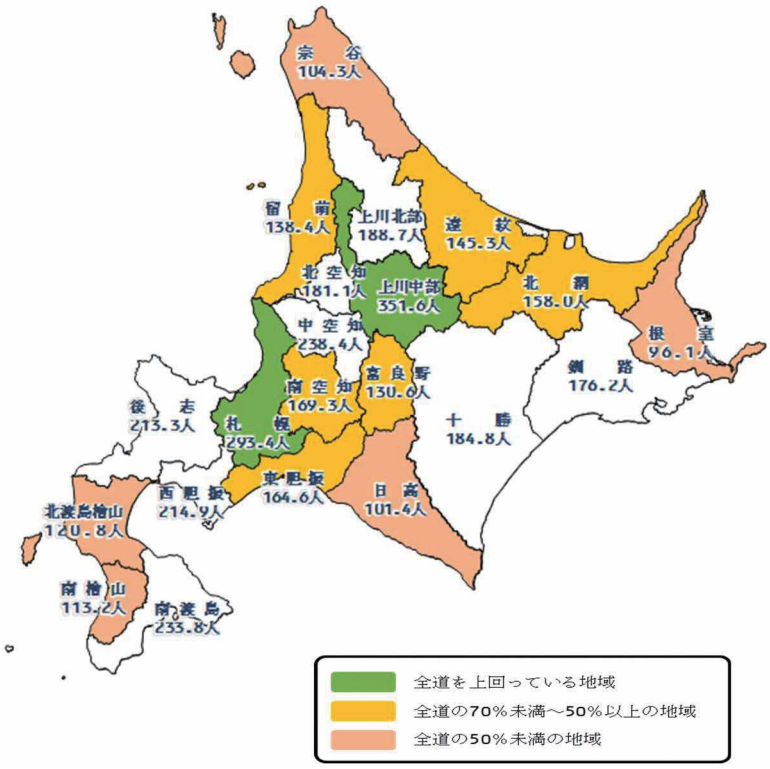
2　二次医療圏毎の医師数の状況

○　本道における平成30年（2018年）の人口10万人当たりの医師数は、243.1人となっており、全国平均の246.7人に近い水準となっていますが、二次医療圏毎の人口10万人当たりの医師数を比較すると、２圏域（上川中部圏域、札幌圏域）を除く19圏域で全国平均値を下回っている状況です。

また、二次医療圏別で比較すると、全道平均値の50％未満となっている圏域が５圏域（北渡島檜山圏域、南檜山圏域、宗谷圏域、日高圏域、根室圏域）あります。

	圏域名	人口10万対医師数	全道との比較
1	上川中部	351.6	144.6%
2	札幌	293.4	120.7%
3	中空知	238.4	98.1%
4	南渡島	233.8	96.2%
5	西胆振	214.9	88.4%
6	後志	213.3	87.7%
7	上川北部	188.7	77.6%
8	十勝	184.8	76.0%
9	北空知	181.1	74.5%
11	釧路	176.2	72.5%
10	南空知	169.3	69.6%
12	東胆振	164.6	67.7%
13	北網	158.0	65.0%
14	遠紋	145.3	59.8%
15	留萌	138.4	56.9%
16	富良野	130.6	53.7%
17	北渡島檜山	120.8	49.7%
18	南檜山	113.2	46.6%
19	宗谷	104.3	42.9%
20	日高	101.4	41.7%
21	根室	96.1	39.5%
全道		243.1	100.0%
全国		246.7	101.5%

＊厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」



3　医師養成数の推移等

○　道内医育大学の入学定員の合計は、平成元年度（1989年度）から平成19年度（2007年度）まで、300人で推移し、平成20年度（2008年度）以降、国の「緊急医師確保対策」等により、恒久定員の増員のほか、臨時定員の増員が行われ、令和元年度（2019年度）では339人、令和２年度（2020年度）では327人となります。

○　全国の医学部入学定員の合計は、平成19年度（2007年度）で7,625人となっていましたが、平成20年度（2008年度）以降、医学部の新設や増員が行われ、令和元年度（2019年度）には、過去最大規模となる9,420人となっています。一方、国においては、「経済財政運営と改革の基本方針2018」により令和４年度（2022年度）以降については、医学部定員の減員に向け、医師養成数の方針について検討することとしています。

【道内三医育大学の入学定員の推移】

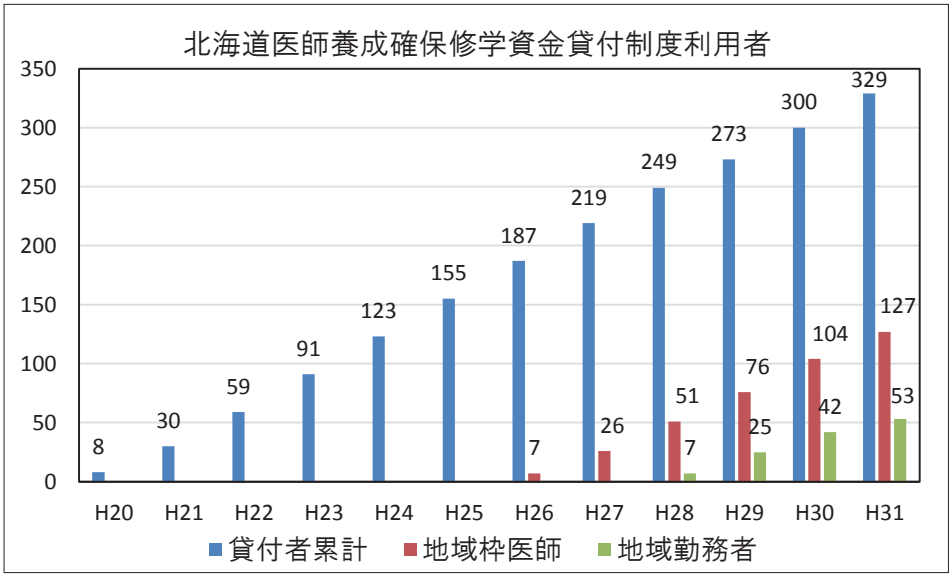
区分	H1～H19	H20	H21	H22～H29	H30～R1	R2
三医育大学計	300	305	327	344	339	327
北海道大学	100	100	105	112	112	112
旭川医科大学	100	100	112	122	117	105
札幌医科大学	100	105	110	110	110	110

＊北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課調べ
＊２年次編入者分を含む

４　道の地域枠制度

○　医育大学の臨時定員増とあわせて、地域の医療機関で一定期間勤務することを返還免除の要件として修学資金の貸付を行う北海道医師養成確保修学資金貸付制度（地域枠制度）を平成20年度(2008年度)に創設しました。平成28年度(2016年度)からは、修学資金を利用した方々が地域枠医師として道内の各地域で勤務を開始し、その人数は年々増加しています。

貸付枠については、令和元年度(2019年度)は、札幌医科大学が15名、旭川医科大学が12名、北海道大学５名の合計32名となっています。



＊北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課調べ

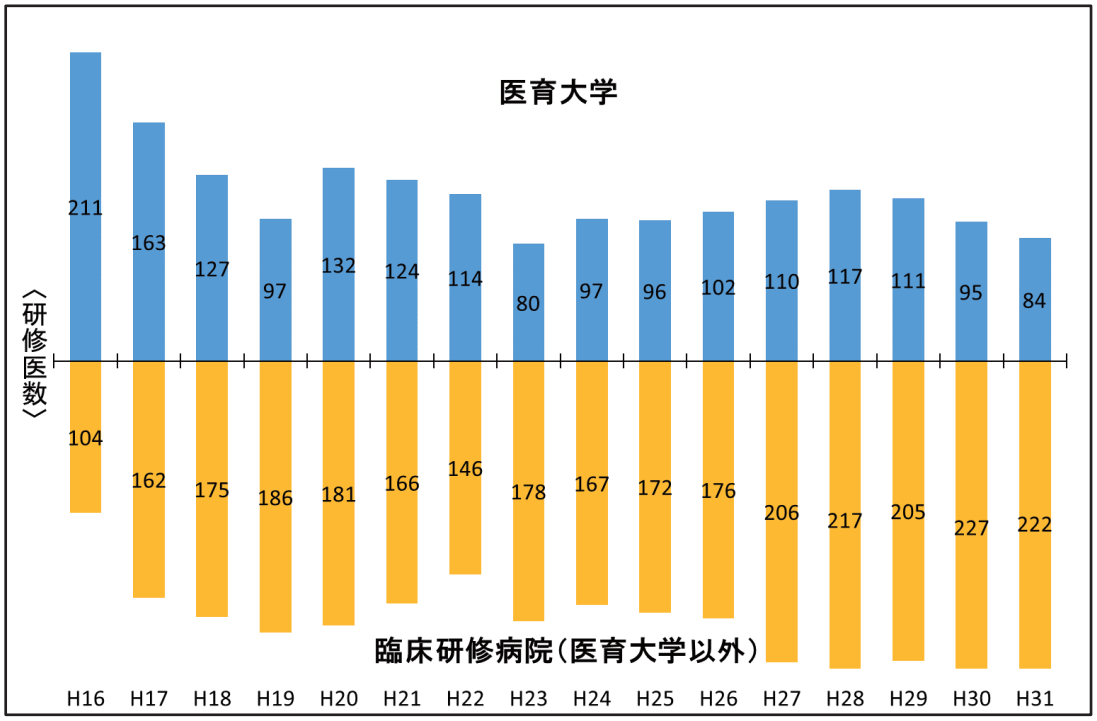
５　地元出身者枠・地域枠

○　国のガイドラインでは、「地域枠」については、都道府県内の特定の地域における診療義務を課すものであり、都道府県内における二次医療圏間の偏在を調整する機能があるとされています。一方、「地元出身者枠」については、特定の地域等での診療義務があるものではないため、都道府県内における二次医療圏間の偏在是正の機能はなく、都道府県間の偏在を是正する機能があるとされています。

○　道内においては、札幌医科大学が、道の修学資金貸付制度と連動した「特別枠」のほか、「北海道医療枠」などを実施しており、また、旭川医科大学では、将来は上川中部を除く道北・道東等の地域医療に貢献することを要件とした「推薦入試道北・道東特別選抜」のほか、「ＡＯ入試北海道特別選抜」を実施しています。

6　初期臨床研修医の状況

○　平成 16 年度(2004 年度)に医師の初期臨床研修が必修化されて以降、道内の臨床研修病院で初期臨床研修を行う医師数は減少していましたが、地域枠制度の導入などにより、ここ数年は 300 名を超えて推移しており、このうちの 80 名近くが道外の医育大学出身者となっています。



＊北海道「臨床研修医採用状況調査」

【道内臨床研修病院における初期臨床研修医の採用状況】

区分		H29年度	H30年度	H31年度
道内採用者数	道内大学出身	247 < 78.2% >	238 < 73.9% >	230 < 75.2% >
	道外大学出身	69 < 21.8% >	84 < 26.1% >	76 < 24.8% >
	計	316	322	306
（内訳）医育大学	道内大学出身	89 < 80.2% >	75 < 78.9% >	69 < 82.1% >
	道外大学出身	22 < 19.8% >	20 < 21.1% >	15 < 17.9% >
	計	111	95	84
医育大学以外の臨床研修病院	道内大学出身	158 < 77.1% >	163 < 71.8% >	161 < 72.5% >
	道外大学出身	47 < 22.9% >	64 < 28.2% >	61 < 27.5% >
	計	205	227	222

※各年度4月1日時点採用者数

7　専攻医等の状況

○　初期臨床研修を修了した医師の多くは、それぞれが希望する診療科の専門性を高めるため、平成30年度(2018年度)からは専攻医として専門医の取得に向けた専門研修を行っており、道内の専門研修施設における専攻医等の数は増加傾向にあります。

【道内専門研修施設における専攻医等の採用状況】

区分		H29年度	H30年度	H31年度
道内専門研修施設 専攻医等採用状況	道内での 初期研修修了者	266 < 95.0% >	289 < 93.5% >	309 < 90.4% >
	道外での 初期研修修了者	14 < 5.0% >	20 < 6.5% >	33 < 9.6% >
	計	280	309	342
（内訳） 医育大学での 専攻医等採用数	道内での 初期研修修了者	126 < 92.0% >	120 < 93.0% >	113 < 86.9% >
	道外での 初期研修修了者	11 < 8.0% >	9 < 7.0% >	17 < 13.1% >
	計	137	129	130
医育大学以外の 専門研修施設での 専攻医採用数	道内での 初期研修修了者	140 < 97.9% >	169 < 93.9% >	196 < 92.5% >
	道外での 初期研修修了者	3 < 2.1% >	11 < 6.1% >	16 < 7.5% >
	計	143	180	212

※各年度4月1日時点採用者数
※H29年度については、臨床研修病院での採用者数

8　診療科別の医師数の推移

○　平成20年(2008年)と平成30年（2018年）を比較すると、内科系医師（全体）では増加傾向（4,567人→4,924人）にあり、外科系医師（全体）でも微増（2,514人→2,565人）しています。

また、糖尿病内科、消化器内科、麻酔科は比較的増加割合が高くなっています。

【診療科別医師数（人）】

年	総数	内科計	内訳									外科計	内訳							
			内科				消化器科（胃腸科）	循環器科	呼吸器科	神経内科＋神経科	①その他内科系		外科		心臓血管外科	呼吸器外科	形成外科	脳神経外科	整形外科	③その他外科系
H10	10,519	4,417	3,126				477	468	178	144	24	2,499	1,047		155	26	77	361	791	42
H12	10,921	4,589	3,291				460	493	173	140	32	2,569	1,058		166	25	80	368	829	43
H14	11,228	4,684	3,291				486	525	204	134	44	2,544	999		168	26	85	366	853	47
H16	11,490	4,683	3,219				523	539	216	133	53	2,566	1,024		175	28	79	364	846	50
H18	11,579	4,484	3,008				547	513	211	144	61	2,467	919		172	28	85	364	853	46
年	総数	内科計	内訳									外科計	内訳							
			内科	糖尿病内科（代謝内科）	血液内科	腎臓内科	消化器内科（胃腸内科）	循環器内科	呼吸器内科	神経内科	②その他内科系		外科	消化器外科（胃腸外科）	心臓血管外科	呼吸器外科	形成外科	脳神経外科	整形外科	④その他外科系
H20	11,830	4,567	2,788	86	66	62	583	543	234	129	76	2,514	771	112	185	35	101	374	857	79
H22	12,019	4,612	2,779	91	83	66	606	544	240	127	76	2,530	742	101	171	39	95	381	912	89
H24	12,262	4,684	2,682	110	89	77	674	574	250	133	95	2,567	701	131	168	47	101	399	915	105
H26	12,431	4,774	2,700	125	110	83	658	586	268	149	95	2,568	682	130	173	47	105	397	916	118
H28	12,755	4,905	2,678	134	114	89	720	630	267	164	109	2,550	638	151	171	45	103	394	921	127
H30	12,848	4,924	2,608	153	113	109	732	633	285	168	123	2,565	628	145	179	53	101	409	917	133
30-20	1,018	357	▲180	67	47	47	149	90	51	39	47	51	▲143	33	▲6	18	0	35	60	54

年	総数	小児科	産婦人科＋産科	婦人科	精神科	泌尿器科	皮膚科	眼科	耳鼻いんこう科	麻酔科	救命救急	その他診療科⑤	研修医
H10	10,519	603	428	28	485	293	273	412	357	356		368	
H12	10,921	590	438	46	543	316	287	430	367	366		380	
H14	11,228	608	430	34	590	321	307	465	372	391		482	
H16	11,490	598	395	48	619	330	306	467	357	421		700	
H18	11,579	604	359	60	616	320	296	441	359	400	63	468	642
年	総数	小児科	産婦人科＋産科	婦人科	精神科	泌尿器科	皮膚科	眼科	耳鼻いんこう科	麻酔科	救急科	その他診療科⑥	研修医＋臨床
H20	11,830	617	364	68	665	331	311	459	374	428	77	453	602
H22	12,019	618	379	76	672	338	316	478	358	459	71	554	558
H24	12,262	634	390	87	716	340	330	478	359	471	83	587	536
H26	12,431	642	381	82	703	321	338	469	362	509	85	641	556
H28	12,755	639	400	76	733	326	347	480	363	523	88	667	658
H30	12,848	631	402	78	710	359	361	482	366	545	102	669	654
30-20	1,018	14	38	10	45	28	50	23	▲8	117	25	216	52

注）平成20年以降の調査【医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）】では、標ぼう診療科の改正（細分化）が行われたため、それ以前との単純な比較はできない。

①その他内科系（心療内科、ｱﾚﾙｷﾞｰ科、ﾘｳﾏﾁ科）
②その他内科系（心療内科、ｱﾚﾙｷﾞｰ科、ﾘｳﾏﾁ科、感染症内科）
③その他外科系（美容外科、小児外科、肛門科、気管食道科）
④その他外科系（美容外科、小児外科、肛門外科、気管食道外科、乳腺外科）
⑤その他診療科（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科(理学療法科)、放射線科、病理(H18)、性病科、全科、その他、不詳）
⑥その他診療科（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科、放射線科、病理診断科(H20～)、臨床検査科、全科、その他、不詳